

# ペンギンレポート



発行所  
市民フォーラム  
〒183-8703  
府中市宮西町2-24

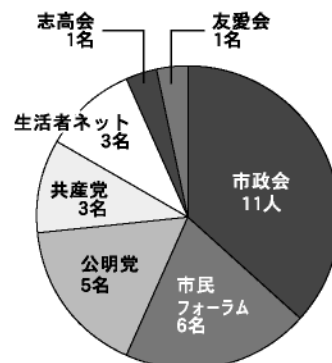
## 臨時議会開催！ 5月11日・12日

はじめての議会に臨みました。

臨時議会では、正副議長、監査委員と所属委員会など議会人事が決定しました。議長に市政会の村木議員、副議長に公明党の遠田議員、監査委員に市政会の松村議員が決定。

私は、常任委員会は文教委員会に、そして特別委員会は市庁舎建設委員会に所属が決まりました。任期は、いずれも1年です。その他、総合計画審議会と青少年問題協議会の委員となりました。

また、私の所属会派は、民主党3議員と共に市民フォーラムです。



【議会会派構成】

## 2011年6月定例会報告 一般質問

定例会が6月6日から開催されました。市長が議会を招集しますが、会期日程などは、議会で決定します。一般質問の事前通告は、23件。一般質問に2日間を充て、会期は、21日までとなりました。

私の一般質問は、23人中11番目。7日か8日になるのか…微妙な順番の中、緊張しながら、各議員と当局のやり取りを聞き、一般質問初日を終わりました。結局、私の初の一般質問は8日の朝一番になり「府中版コミュニティ・スクール」と「小・中学校における特別支援教育」について質問しました。

### 府中版コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールとは、

地域住民が当事者として学校の運営に関わり、また、地域ボランティアとして、学校を支援する取り組みです。地域が創る地域の学校として、全国で789校がコミュニティ・スクールに移行しています。

**山 上** 地域の教育力の低下が言われていますが、学校との関係において、地域の役割をどのように考えていますか？

**教育長** 人間関係の希薄化や多忙感などの要因により、地域コミュニティの低下が叫ばれるなか、これからの学校教育においては、学校、家庭、地域相互のより一層の緊密な連携・協力が求められる。

この取り組みを通して、学校を地域の核としながら、地域が学校を育てるとともに、学校は地域づくりに寄与し、貢献していくことで地域全体の活性化に資するという、循環型の地域コミュニティづくりを目指す。

今年度から、5中、日新小をモデル校として、府中版コミュニティ・スクールの2年間の実証研究が始まります。その後、全市的に順次、導入の予定です。

学校を核にした新たなコミュニティの実現に向け、スピード感をもって進めてもらいたいと思います。

### 特別支援教育における専門的支援を！

平成18年に府中市において「特別支援教育推進計画」が策定され、通常の学級に在籍する発達障害のある児童・生徒の支援が行われるようになりました。

答弁から分かったのは、一般的に教育分野では、発達障害を情緒障害として指導してきたため、現在でも、発達障害と情緒障害を混同しがちで、その結果、適切な支援・援助が行われず、不登校やいじめを助長し、青年期の引きこもりにもつながっているということです。

#### 認知・コミュニケーション面の援助を

発達障害のある児童・生徒に対して、認知・コミュニケーション面の援助が重要であることを認識しつつも、そのような体制が整えられていません。

教育センター内に臨床心理士に加え、言語聴覚士、作業療法士といった認知・コミュニケーションの専門家チームによる支援・援助の体制を要望しました。何よりも医療・福祉・教育の連携が必要です。

# 気になる府中の放射能

去る6月17日、東京都による空間放射線量の測定が第九中学校と南町小学校で実施され、同行してまいりました。結果は、以下の通りです。

市内空間放射線量の測定結果		注) 大気中の放射線量1グレイは1シーベルトに換算できます。	
測定場所	住 所	地上1メートルの線量率	地上5センチメートルの線量率
市立府中第九中学校	小柳町2丁目4番地	1時間あたり0.06マイクログレイ	1時間あたり0.06マイクログレイ
市立南町小学校	南町3丁目6番地	1時間あたり0.04マイクログレイ	1時間あたり0.05マイクログレイ



▲府中市立第九中での放射能測定

文科省の学校の放射線量についての1~20mSv/年の上限撤廃を求めた陳情が、文教委員会に付託され審議が行われました。陳情者からの説明があり、小さな子をもつ母親として涙ながらに訴えていました。未来ある子どもたちのために、安心できる学校であって欲しい。誰もがそう思います。全会一致で採択されました。

大気・水道水・土壌・農産物の放射能測定の陳情が、建設環境委員会に付託されましたが、市民フォーラムは採択を主張したものの、市政会、公明党の賛成多数で、継続審議となりました。ところが、短期間に3224名の署名が集まり、本会議翌日の22日に放射能緊急対策本部が設置され、市独自の放射能測定を行うことが決定されました。

## 復興支援フォーラム 市民の声が届かない…

6月12日、花巻の復興支援団体が主催するフォーラムに、日帰り参加。大槌にも立ち寄り、遠野の支援団体も見学してきました。3月以来の訪問ですが、大槌は、瓦礫が一部、撤去され、海に近い一角には、廃材がビルのように、うず高く積み重ねられていました。腐敗臭も激しく、ハエが大量発生しています。復旧も進まず、復興は、まだまだとの印象です。

遠野には、「遠野まごころネット」という支援団体が、社会福祉協議会の協力を得て活動しています。支援物資の輸送のほか、他地域からの災害支援ボランティアセンターの管理・運営を行っています。この日も、全国各地から、230名のボランティアが体育館に寝泊まりし、釜石・大槌・陸前高田へとバスで支援に向かっていました。

フォーラムでは花巻で避難生活を送っている大槌町の方々が「声を聞いて欲しいのに議員の姿を見ない…」また復興住民会議の若い代表者は「誰にも任せられないから、自分たちで復興する」など悲痛な叫びを訴えていました。大槌町は、町長をはじめ職員も多く亡くなり、行政機能がストップしています。この状況の中で議員が復興に向けて果たすべき責任と、たとえ家を流され家族を失っても、やり遂げる覚悟が必要なることを痛感しました。

7月31日に「被災地に家電品を送ろう」プロジェクト、また、8月1、2日で、府中市内の中学生に同行してもらい、集めた電化製品を気仙沼で配布する「家電品配布ボランティアin気仙沼」も予定しています。

これからも、私たちにできる息の長い支援を行っていきたくと考えています。



### 平成23年 第2回市議会定例会 主な議決

議案議決結果一覧	付託委員会	本会議結果	請願・陳情審議結果一覧	付託委員会	本会議結果
府中市立ふれあい会館条例の一部を改正する条例	厚生経済	可決	地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を政府等に提出することを求める件についての陳情	厚生経済	採択
府中市暴力排除条例	建設環境	可決	都民のための食肉処理場を整備するまで八王子食肉処理場を存続させることに関する陳情	厚生経済	継続審査
固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	本会議直接審議	同意	災害時の緊急食料として家畜を活用する仕組みの構築に関する陳情	厚生経済	継続審査
人権擁護委員候補者の推薦の同意について	本会議直接審議	同意	放射能対策に関する陳情	建設環境	継続審査
文部科学省の「20mSv/年」を上限とする「学校の校舎・校庭等の利用判断における暫定的な目安」の撤廃を求める意見書	本会議直接審議	可決	文部科学省の「20mSv/年」を上限とする「学校の校舎・校庭等の利用判断における暫定的な目安」の撤廃を求める	文教	採択
地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書	本会議直接審議	可決	議会のすべての委員会における会議の記録を作成し、その会議録の公開を求める陳情	議会運営	継続審査
当面の電力需給対策に関する意見書	本会議直接審議	可決			
震災からの復興に向けた補正予算の早期編成を求める意見書	本会議直接審議	可決			



## 山上みのる

府中市議会議員 会派：市民フォーラム／民主党東京都府中市支部政策副委員長

事務所所在地 〒183-0056

東京都府中市寿町3-9-18-102

TEL・FAX 042-366-3543

E-mail yamagami\_229@nifty.com

URL http://yamagami.a.la9.jp/

郵便振替 00160-8-607854 (山上みのる後援会)

ご意見ご要望をお寄せ下さい。ご支援も宜しくお願ひします。